2026（令和8）年度　北海道園芸研究談話会　研究発表会プログラム

2026（令和8）年12月6日　　於　北海道大学　農学部校舎

開始時間	会場（2階, S21）
	午前１　　座長　菅原魁人（道総研道南農試）
9:30	1．ハウス高畝非掘り上げ促成栽培におけるアスパラガス育成系統の特性評価 〇中島悠登・嶋野大雅・園田高広(酪農大)
9:45	2．片枠式高畝露地栽培におけるアスパラガス育成系統の収量性および作業性評価 〇嶋野大雅・中島悠登・園田高広(酪農大)
10:00	3．アスパラガス胚性カルスの乾燥保存性に及ぼす前処理中の冷蔵および光条件の影響 〇丸山航平・秋山勇太朗・鈴木　卓・実山　豊(北大院農)
	午前２　　座長　実山　豊（北大院農）
10:20	4．にんにくのマルチ栽培におけるプラスチックを用いない緩効性肥料の施用効果と窒素施肥量に関する検討 松岡祐樹(道総研花野菜技セ)
10:35	5．ギョウジャニンニクの新根発生特性と茎盤による株齢推定 〇田丸典彦1・諫山邦子2・渡辺剛志3(1.釧路野外教育研究会、2.くしろせんもん学校、3.釧路短大)
10:50	6．北海道におけるゴーヤ露地地這い栽培の可能性 嶋倉直也(道総研花野菜技セ)
	午前３　　座長　村田奈芳(農研機構北農研)
11:10	7．計測方法による「気温」の違いについて 野田智昭(道総研上川農試)
11:25	8．スタンダードカーネーションにおける高温遭遇が花芽分化、着蕾、DcFT1遺伝子発現に及ぼす影響 〇白水智晴・佐々木琉成・水野有梨・森　志郎(酪農大)
11:40	9．電球形LEDの配光・分光の実測に基づく花き電照の設置前評価 菅原魁人(道総研道南農試)
11:55	10．機械学習によるスターチス切り花品質判別に関する一考察 髙濱雅幹(道総研花野菜技セ)

12:10～13:20　昼休み（70分）

	午後１　　座長　森　志郎（酪農大）
13:20	11．ナス養液栽培における強勢台木品種の特性 〇福川英司・野田智昭(道総研上川農試)
13:35	12．夏秋どりイチゴにおける奇形果発生と開花後積算気温の関係解析 〇熊谷太司1・小田原昂熙2・福川英司1・藤木卓巳3・実山　豊4・鈴木　卓5(1.道総研上川農試、2.道総研花野菜技セ、3.農研機構果茶研、4.北大院農、5.八紘学園)
13:50	13．イチゴ品種‘サトホロ’の収穫後品質に及ぼす塩化カルシウムおよびCO_2処理の効果 〇松本恒明1・小関成樹1・鈴木　卓1・高橋恒久2・三部英二3・実山　豊1(1.北大院農、2.横浜植木(株)、3.JFEエンジニアリング(株))
14:05	14．七飯町におけるりんご高密植栽培の取組み事例 〇小坂善仁1・成田圭佑2(1.渡島農改、2.後志農改北後志)

終了14:20

注）〇印は演者を示します。発表時間は1課題当たり15分（発表12分、質疑3分）です。

発表開始後、10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らしますので、演者は参考にして下さい。

演者の許可なく講演内容のカメラ・ビデオ等による撮影は禁止します。

※演者の方は、一つ前の発表が始まる前までに、各講演会場前方のPC係に発表スライドの入ったUSBメモリを提出ください
※会報原稿作成時の課題番号は、上記プログラムに記載した通し番号をお使いください
※会場での会費納入は取りやめることにしました。談話会ホームページもしくは会報に掲載の所定の振込口座へお振込みください